

荒神山ファンクラブプロジェクト

荒神山ファンクラブ

活動場所 滋賀県彦根市荒神山周辺地域
所在地 滋賀県彦根市石寺町 1283
設立年 2018年
会員数 131名
連絡先 kojimt.fc@gmail.com,
HP  Facebook  Instagram 



夏原グラントで実施した事業の紹介

本昨年度幅広く実施した活動について精査し、今後も継続していくための検討をしました。その結果、「松茸復活プロジェクト」と称した荒神山の松茸を復活させるための里山整備事業、ウォーキングイベント、フォトコンテスト、椎茸栽培WSに絞り、ゆるやかな居場所づくり、荒神山とのつながりの創出を行いました。また、FBやInstagram、HPを活用し、広報活動を行いました。

環境や地域への貢献

環境への貢献は、里山整備をしたことによる里山保全、荒神山の薪を石寺町の民家の薪ボイラーとして使用したことによる循環型のエネルギー消費という点です。

助成金が活きたと思う点

里山整備にはチェーンソー、草刈機などの機械が必須なのですが、替え刃やオイル等機械の維持費を会費から捻出するのは困難なため、活用させていただきました。今年度は椎茸栽培のための原木も購入させていただきました、非常に助かりました。ありがとうございました。

西の湖ヨシ灯り展

西の湖ヨシ灯り展実行委員会

活動場所 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦地先 西の湖周辺
所在地 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4660
安土コミュニティセンター
設立年 2007年
会員数 20名(拡大実行委員)



夏原グラントで実施した事業の紹介

2019年9月28日～29日の二日間、第13回西の湖ヨシ灯り展を開催しました。今年は個人・団体を合わせ県内外から479点の出展とマルシェの開催があり、会場となった西の湖ヨシキリ池の周辺は2000人近くの来場者でにぎわいました。

環境や地域への貢献

今回も幼稚園や小学校、コミュニティセンターをはじめ、依頼のあった制作会場に出向き、制作のアドバイスと合わせて、西の湖のヨシが自然環境に及ぼす影響などについてお話をすることができました。年々新規に出展される個人や団体も増え、関心が高まっていると感じています。

助成金が活きたと思う点

助成金は、制作指導に当たってくれた大学生や先生の講師代や材料費として活用し、参加した子どもたちが楽しく作品作りに取り組むことができました。ヨシ灯り展も回を重ねるごとに出品者が増え、出品される作品のレベルも年々向上しています。それに合わせて、会場となる西の湖に関心を持つ人も多くなり、西の湖の環境保全や湖の活用についての取り組みが盛んになってきています。

緑の手入れを通じての

“高齢者支援対策”と“空き家対策” 志津南環境美化ボランティアの会

活動場所 滋賀県草津市志津南学区内
所在地 滋賀県草津市若草3丁目8-12 林 敏夫 宅内
設立年 2013年
会員数 52名



夏原グラントで実施した事業の紹介

住民の高齢化(43%)に伴い、自分で庭木の手入れができない高齢者、また空き家も増加傾向に在り、町の景観悪化に繋がりがつありますが、本年度は高齢者宅19軒、空き家17軒の庭木の手入れを実施することができました。(昨年度実施軒数26軒)

環境や地域への貢献

町の景観が保たれ不法投棄も減り防犯防災対策にも繋がりが、安全安心な町の実現に繋がってきています。荒れ果てた町並みは町全体の価値を下げてしまう要因にもなり、新しい入居者を拒む要因にもなりますが、新規入居者も増えつつあり、空き家の増加抑制にも繋がってきています。本年度は特に若い子育て世代の入居者もあり、久しぶりに町に子どもの声が聞かれるなど、町の活性化にも繋がってきています。

助成金が活きたと思う点

昨年、今年と2年間に亘る助成金で用途別の器具類を揃えさせていただき、安全に・気持ち良く・効率的に作業をすることができ大助かりでした。

里山の整備保全と地域との交流活動

特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会

活動場所 滋賀県甲賀市水口町松尾松の本
所在地 滋賀県甲賀市水口町松尾 362-22
設立年 2004年
会員数 42名
連絡先 TEL 090-6206-1515、44tyuf1518@ac-koka.jp(藤井)
HP



夏原グラントで実施した事業の紹介

我々の活動には里山の整備保全活動と環境教育交流活動があります。子ども達に里山の自然な環境を体験し、里山の環境の良さを知ってもらうと同時に近隣の大人達も里山に来ていただくために、大人と子どもと一緒に楽しめる音楽会を第2回目として10月26日に開催し、たくさんの方が来て楽しんでいただきました。我々もこの音楽会を継続実施するのに自信と励みをいただきました。

環境や地域への貢献

近隣の団地の子どもの会が初めて里山に来て、第一回の里山キノコ観察教室を開催しました。里山には多くの種類のキノコが生えており山の木々などに貢献していること、食べられるキノコ・食べられないキノコ、里山に生えているキノコの種類等について、講師の先生にわかりやすく話をしていただき皆もうなずいていました。里山の環境を知ってもらうためにも、この教室を続けていきたいと思っています。

助成金が活きたと思う点

夏原グラントの助成金を頂いたおかげでこれからの森の音楽会の継続の見通しが立ちました。また、音楽会を開催することにより里山の整備も進みました。そして、何よりも我々会員がマンネリ化から抜け出し、目標をもってチャレンジできる自信と勇気をもらいました。

久多の山と遊ぶビーバーの会

自然住宅情報ひろば

活動場所 京都府京都市左京区久多自性寺谷
所在地 京都府京都市山科区四ノ宮大将軍町 15
設立年 2002年
会員数 23名
連絡先 075-582-8177、johohiroba@nifty.com
HP



夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市左京区久多にある長年放置されていた森の保全整備活動と宇治田原町の松茸山整備に伴う薪作り、そして「木」「建築」に関する講演や勉強会を不定期に開催しました。久多では毎月第2日曜日の通常活動とチェーンソーを使った倒木処理を7回、3回の観察会を行いました。2019年度からは生き物にも注目していきたいと考え、4月に野鳥の観察会を開催しました。宇治田原町では、バイオマスエネルギーの普及活動の一環として、松茸山整備で伐採された木々を薪にする活動をしています。また「木」「建築」に関する講演では木材の研究をしてこられた有馬孝禮先生がお話してくださいました。

環境や地域への貢献

久多の山は表土が薄く、さらに急峻なため、2018年の台風では大木がいくつも根から倒れる被害がありました。倒木をチェーンソーでカットし、安全な場所まで運んだり、土留めになる場所に設置したことで、山の保全に大いに貢献できたと思います。また、倒木処理を地元の林業家にご指導いただきながらすすめたことで、地域の方々との交流ができました。さらにお祭りやトレッキングに参加したところ、私たちの活動に興味を持ってくださった方もあり、観察会に地元の方がたくさん来ててくださいました。

助成金が活きたと思う点

作業の指導を林業家の方をお願いする事が助成金のおかげでできました。山や木の知識を深める講演や勉強会を継続して開催できたことも大きな財産です。

鹿背山おやこの森の kichi

特定非営利活動法人こそだてママ net

活動場所 京都府木津川市
所在地 京都府木津川市山城町平尾西方儀 38
設立年 2009年
会員数 約40名
連絡先 kmamanet@gmail.com
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

鹿背山おやこの森の kichi は、2つのクラスを月1ペースで開催しています。ファミリークラスは、年中～小学生の親子対象の野外活動です。里山保全活動団体の整備地区を活用させていただき、その団体会員の皆さんがスタッフとしてもご協力くださり、整備活動や動野外料理等から親子ともに生きる術を学ばせていただいています。プレクラスは、未就学児の親子対象の森のようちえん活動です。

環境や地域への貢献

子ども達の笑い声が響き渡り、元気な姿を見られることが活動の励みになると、整備団体の会員の皆さんからお声をいただいています。走り回ること除草作業が減ったとも聞きますので、子ども達には大いに走り回り、楽しい思い出を持ち帰り、大人になり後継者として森に帰って来てほしいです。

助成金が活きたと思う点

年度当初に発生した骨折事故を教訓に、安全管理や救命救急、リスクマネジメント等、安全に活動を継続するための学びの機会を多く持つことができ、全体の意識が明らかに変わったことを実感しています。2020年度も安全で楽しいプログラムを提供できるよう努めます。

活動場所 京都府亀岡市曾我部町重利山ノ下
 所在地 京都府亀岡市曾我部町重利山ノ下 21-8
 設立年 2015年
 会員数 56名
 連絡先 090-3677-1229、kiyosumi@zeus.eonet.ne.jp
 HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

「重利の山を守る会」の活動も5年を過ぎました。山の整備活動で「重利の山公園計画」も進み、花であふれる里山の理想に近づいてきました。また、4月に渋谷菜津子氏によるチェンソーアートパフォーマンスを開催。7月に第3回「親と子の木工教室」、10月に小濱達郎ファミリーバンド、女声デュオ【プリランテ】による第2回「森のコンサート」を開催し、イベントも充実してきました。地域の人達の期待も増してきました。

環境や地域への貢献

スギを伐採し山裾に植えたツツジが花をつけるようになってきました。桜を植え小屋周りに植えたバラも花が咲きそうです。5月に【オープンガーデンかめおか】に参加し私達の山を公開して【オープンカフェ】を開催し、地域のコミュニティの場として利用しています。

助成金が活きたと思う点

各イベントのチラシ作成費、出演者の謝金等夏原グラントの助成金を利用しています。



環境保全活動団体交流会の報告



夏原グラント環境保全活動団体交流会を7月27日（土）に草津市立まちづくりセンターにて開催しました。

台風の影響が心配されたものの、幸い荒天でもなく京都と滋賀から22団体61名の方が参加されました。夏原グラントの助成を以前に受けていた団体も多数おいでくださいました。

5名の選考委員の皆さんのキーワードリレートークは、様々な角度から活動を見た、とても充実したお話でした。その後2回行ったテーブル交流では、活動紹介と活発な意見交換が行われ、おおいに盛り上がりました。

ロゴマークとリンクバナー



←夏原グラントのロゴマークです。「夏」の文字をデザインし、オレンジ色で元気を表現しています。採択された事業のチラシや購入品にはこれを表示していただいています。



←採択団体には夏原グラントサイトへのリンクをお願いしています。その時使っていただくリンクバナーです。

スギ・ヒノキの人工林から命を育む自然の森へ 琵琶湖水源の森づくりプロジェクト 日本熊森協会滋賀県支部

活動場所 滋賀県高島市麻生林
所在地 滋賀県大津市
設立年 2004年
会員数 約460名
連絡先 090-2011-5530、kumamorishiga@yahoo.co.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

麻生林へ関わり始めて15年目。分収造林地返還が実現し、晴れて自分たちの目指す生き物の森、琵琶湖水源の森づくりを進めることができました。県外の林業女子やボランティアと一緒に台風による倒木処理や道の補修ができました。たくさんの学習会や講演会に参加し、他団体に学ぶことで、自然林化への具体的な道筋がみえてきました。日本みつばちの巣箱設置、野生動物生態観察のための自動カメラの設置、広葉樹の苗作りなどです。

環境や地域への貢献

森林組合職員の方の専門知識も力強く、多に協働していけそうです。台風で大きく崩壊している作業道を補修し、ボランティアが入りやすくなれば、各年代の方々にも参加が可能になります。従来の間伐、林内整備活動も楽しむことができます。一方、小学校への環境出前学習も年数が重なりパワーアップしてきました。子どもたち、先生方にもご好評いただいています。麻生林での自然体験学習へつなげていきたいです。

助成金が活きたと思う点

県内の林業者、農村の方々に野生動物被害の聞き取り調査を始めます。人間と野生動物の棲み分けの方法を具体的に探りたいです。100年先500年先には人間の活動が自然の循環を妨げない程度になるよう、現在の活動の方向を見据えていきます。

休耕農地を活用し、地域に自生し絶滅の恐れのある 花菖蒲・杜若・メダカ・タガメ等、水生動植物の保護育成園の整備事業

浜分環境クラブ

活動場所 滋賀県高島市今津町浜分
所在地 滋賀県高島市今津町浜分
設立年 2014年
会員数 約10名
連絡先 滋賀県高島市今津町浜分 331



夏原グラントで実施した事業の紹介

荒地に(枯れ木ではなく)花を咲かせましょう!と、休耕田という名の葦や蒲の草原を花菖蒲園への拡大を目指して開墾を始めたときに、夏原グラントの助成を知りました。夏原グラントの3年間を見越した助成は、計画的な整備発想の源となり、先払い方式は微力な集団を支える力として強く後押しをしてくださいました。応募から3年、以前の草の繁茂が思い出せなくなるほど姿を変えることができたのです。

環境や地域への貢献

各新聞の滋賀版に毎年取り上げられることにより、遠隔地からのリーダーが増え、地元住民による素朴なお持てなしも好評となりました。来園者から「菖蒲園のお土産がほしい」との要望に応え、もてなしスタッフが冬期間に手づくりのポプリ等を作成し喜ばれています。また、住居地の名所として紹介できることから町内他地区の地域サロン会場としての利用や、さらには同窓会や女子会の場として利用する人たちが増えました。

助成金が活きたと思う点

地域住民の環境美化意識の高まりだけでなく、サロン活動を運営する力量が高まり、高齢者見守りネットワークの活動が活発になりました。誰もが安心して暮らせる地域作りへの進化。花咲か爺さん心よりの感謝です。

甲賀木の駅プロジェクト 「森林を愛する人を増やそう計画!!」

甲賀木の駅プロジェクト運営委員会

活動場所 滋賀県甲賀市甲賀町
所在地 滋賀県甲賀市甲賀町相模 173-1 大原自治振興会内
設立年 2016年
会員数 木材搬出登録会員44名 店舗協力会員20店舗
連絡先 forest@koka-kinoeki.org HP Facebook

夏原グラントで実施した事業の紹介

森林整備ができる技術を持った人材の育成を目的に、チェーンソー安全講習会と一般の方に向けた森林環境学習イベントを実施しました。甲賀町は中山間地で町民の多くは小規模森林所有者で、家にはチェーンソーがありますが、正しく安全に使える人はわずかです。山に関心を持ち山に行く人を増やすため、3年かけて全町全地区を回って講習会を行いました。イベントは100人規模1回、小規模企画を4回実施しました。

環境や地域への貢献

森林整備が進みました。整備で発生した木材資源で甲賀福祉作業所と連携して薪の生産を行い、福祉への貢献と森林資源循環に努めました。地域通貨の運営により地域活性に取り組むことで、資源循環への理解促進に貢献しました。森林整備に欠かせないチェーンソー研修を行うことで、人材の育成に努めました。森林環境学習イベント実施により、一般の方に理解を深めてもらいました。

助成金が活きたと思う点

研修会やイベント企画を広く周知するための広報、安全対策、活動内容全体への下支えとして、助成金を活かすことができました。



古道再生による里山の保全

番場の歴史を知り明日を考える会

活動場所 滋賀県米原市、彦根市、多賀町(霊仙山麓)
所在地 滋賀県米原市番場 1982
設立年 1992年
会員数 19名
連絡先 090-5047-0153、mine-izu@mx.bw.dream.jp
HP  Facebook  鎌刃城公式サイト



夏原グラントで実施した事業の紹介

米原市・彦根市・多賀町にまたがる霊仙山麓の里山は、自然や歴史の豊富な地域ですが、今は廃村が多く訪れる人も少なく荒廃の危機にあります。このことから、この地域に人を呼び込み里山保全に理解を深めてもらうため、古道を歩くトレッキングを実施しています。このトレッキングの開催のためには、数十年歩かなくなった古道を確認し倒木の除去等の整備が必要で、開催に向けた何回かの整備活動を行っています。

環境や地域への貢献

今年は霊仙山麓の古道を走って競うトレイルランニングの計画が本格的に動き出し、このグループも巻き込んだ古道の整備ができました。この取り組みにより、これまで里山に関心がなかった若者が里山に林業以外の価値を見つけて活用し、里山保全の道が開けることにつながってきました。

助成金が活きたと思う点

助成金により、トレッキングやトレイルランに向けたマップの作成、案内板の設置など、イベントに関する説明・案内に役立ちました。また、これらのコースの整備(倒木、除草)が活動の中心となり、この機材の補給に大いに役立ちました。

里山の保全と遊歩道の維持管理

かぶと山を守る会

活動場所 滋賀県米原市多和田地先
所在地 滋賀県米原市多和田 1619-2
設立年 1983年
会員数 40名
連絡先 tawada.kabutoyama@gmail.com



夏原グラントで実施した事業の紹介

本年度は、以前に間伐した切り株から萌芽した枝の剪定作業を行いました。間伐した当時は「こんなに切ってしまうで大丈夫か」と思いましたが、樹木の生命力はすごいものです。切っても萌芽してくるということは、「過去から未来へ」永遠の命?

環境や地域への貢献

遊歩道を散策された方から、「きれいに手入れされてるね」と声をかけていただきました。今では引退され、一昔前まで一緒に作業していたおじさんからでした。このかぶと山を守る会は、保全作業を楽しみ、作業に参加した会員の人たちとの会話を楽しみ、また訪れた方との会話も楽しめる会です。この楽しむ会を「過去から未来へ」続けていきたいものです。

助成金が活きたと思う点

この助成金で、草刈りチップソーや手鋸を購入しました。当初手鋸で萌芽の剪定を行おうと思いましたが、周囲の草が伸び萌芽した枝と分けがつかなくなり、慌てて草刈り機で周囲の草を刈り、手鋸で剪定を行いました。除草も定期的に行わないと、萌芽した枝が育たないなど痛感しました。

琵琶湖とともに

～沖島「エコの島・安心して暮らせる島」に～

特定非営利活動法人

菜の花プロジェクトネットワーク

活動場所 滋賀県から全国へ。
韓国・中国・チェルノブイリ等 海外でも展開
所在地 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3
設立年 2006年
会員数 500人
連絡先 0748-46-4730、webmaster@nanohana.gr.jp
HP  Facebook 



環境や地域への貢献

夏原グラント助成で、沖島にかかわった6年間。さらに高齢化の波が押し寄せ、この間数十名余の方々がお亡くなりになっています。一方、地域おこし協力隊や漁師希望の若者が沖島に深くかかわりをもって活動する、という新たな活力も出て来ています。

夏原グラント助成事業と並行して、他事業として文化の側面から、柿本人麿呂が青年期に詠んだ「淡海の家 沖つ島山 奥まけて わが思う妹が 言の繁けく」の歌碑を建立。この実現プロセスで、島民の底力も見ることができました。

助成金が活きたと思う点

世界でも珍しい淡水湖の有人島「沖島」が、くらし方・生業・ゆっくりとしたリズムなど、現在の混沌とした世界、そして日本において、これからの生き方の一つの参考になる予感がします。

夏原グラントの助成のおかげで、集中して沖島の可能性を引き出すことに、島民共々挑戦することができました。長年放棄された棚田の菜の花が、未来への一筋の光となりますよう!

野生傷病鳥獣の救護追跡事業

放鳥's

活動場所 滋賀県高島市
所在地 滋賀県高島市安曇川町青柳 2032-67
設立年 2012年
会員数 19名
連絡先 houchoooooz@gmail.com
HP Facebook Twitter



夏原グラントで実施した事業の紹介

今年度は、交通事故などの人為的要因で救護された野鳥 27 個体の治療・リハビリを実施しました。そのうち 3 羽に発信機を付け、追跡調査も行い、1 羽は再保護、1 羽は長期生存 (野生復帰成功) を見届けました。救護技術、追跡技術ともに成長することができました。

環境や地域への貢献

徐々に知名度があがってきており、一般の方からの救護要請や相談、関連組織との連携も増え、より多くの野生動物救護に関われるようになってきました。

助成金が活きたと思う点

ケージの修繕や飼育備品を揃えられたことにより、救護されてきたそれぞれの傷病鳥に合わせた飼育・リハビリ環境を用意できました。助成金を委託費の項目で使うことにより、専門的な治療や検査・鑑定を実施することもでき、新たな知見を得られました。放鳥個体の一部には発信機を取り付けられ、長期生存の確認ができ、再保護や生存フォローなど、必要な処置も可能となりました。

市民共同発電所「おひさま発電所」

認定特定非営利活動法人

設置施設とともに進める環境学習

きょうとグリーンファンド

活動場所 京都府京都市
所在地 京都府京都市下京区五条高倉角堺町 21
事務機のウエダビル 206
設立年 2000年
会員数 67名
連絡先 T&F:075-352-9150、info@kyoto-gf.org
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

保育園、こども園で環境学習として環境腹話術、自然観察会、パペットを使ったシナリオ作りワークショップを実施しました。環境腹話術は、園の子どもたちや保育士を対象に実施。自然観察会は、京都御苑や京都府立植物園をフィールドに実施しました。保育士が環境について子どもたちにどう伝えるかを考える手段としてパペットを使ったシナリオ作りのワークショップを実施しました。

環境や地域への貢献

環境腹話術では、子どもたちの日常に結びついたエコを、楽しくわかりやすく伝えることで、子どもたちが実践するようになり、家庭への波及効果もみられたということでした。ワークショップでは、環境についてパペットを使って、子どもたちにわかりやすい伝えかたを考えることで、保育士自身の環境への認識が深まりました。

助成金が活きたと思う点

「おひさま発電所」設置施設はもとより未設置の施設でも、環境学習を実施できました。パペットを使ったワークショップでは、保育活動の中で子どもたちへの環境学習に使用できるツールができました。

京都・美山千年の川プロジェクト～命溢れる川づくり～

特定非営利活動法人 芦生自然学校

活動場所 京都府南丹市美山町芦生
所在地 京都府南丹市美山町芦生スケ尻 14-2
設立年 2004年
会員数 60名
連絡先 HP Facebook
TEL 0771-77-0588、office@ashiu.org



夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは由良川の最上流、通称美山川を次世代につなぐために、河川環境保全を目指しています。また、環境を守るために必要な人材を育成し、人や生き物など命が溢れ、賑わいのある川づくりを目指して活動しています。

具体的には、川の指導者の育成、親子に向けた川遊びの教室、川魚の生態調査、岸辺植物の回復を目指す植樹活動、地域固有の川文化の聞き取り調査を行っています。

環境や地域への貢献

この事業では地域の方に聞き取り調査を行い、薄れてきた川の文化を記録しています。魚の呼び名、川の名所や料理方法など多岐にわたり地域文化の継承に貢献しています。

また、水難事故抑制のための川の指導者育成 (RAC リーダー) 育成に力を入れ安全で楽しい川の活動の啓発を大切にしています。

助成金が活きたと思う点

助成金のおかげで、参加者の費用負担が大幅に減ったことで、これまで関心の薄い層にも事業に参加してもらいやすくなりました。この度参加した参加者がまた新たなステークホルダーを集めることになるので、未来に向けた活動をすることができます。

森のようちえん おやこの会

一般社団法人森のようちえん どんこ園

活動場所 京都市左京区上高野流田町8 宝ヶ池公園
所在地 京都市左京区八瀬近衛町 723-48
設立年 2011年
会員数 スタッフ数7名、登録者25組
連絡先 doronko_en@yahoo.co.jp
HP [Facebook](#) [f](#)



夏原グラントで実施した事業の紹介

親子で森に入り、年間を通して四季を感じ、自然と触れ合いながら環境への興味関心を育むことを目指して『おやこクラス』を毎週開催しました。また、自然の中で自主性を育む子育てを紹介する講座を2回と、親子で楽しむ野外での『おやこまつり』を年1回開催し、およそ300名の参加者とともに盛り上がりました。月に一度は、どんこ園の親子や地域の方とともに、宝ヶ池公園の広大な森を散策しながらゴミ拾いを行いました。暑い季節には川に入り、水の冷たさを感じながらのゴミ拾いは、親子での楽しいひと時となりました。

環境や地域への貢献

核家族化が進み、子育てが孤立する中、家の中にこもりがちな親子に自然の中で楽しむ育児を紹介。たくさんの参加者と楽しみながらゴミを拾い、自然を学ぶことができました。

助成金が活きたと思う点

チラシ等での広報や、楽しく学べるワークショップの講師をお呼びすることができました。また、安全に活動するためのスタッフも確保でき、多く子どもたちや親御さんに、安心して自然の中で楽しむ育児を経験してもらえました。本当にありがとうございました。

里山農園周辺環境整備事業

特定非営利活動法人やましる里山の会

活動場所 京都府京田辺市 八幡市、木津川市、城陽市、宇治市、久御山町
所在地 京都府京田辺市田辺深田 15
設立年 1996年
会員数 160名
連絡先 0774-64-4183、fddb257@ybb.ne.jp HP [HP](#)



夏原グラントで実施した事業の紹介

倒木除去、下草刈りなど、里山整備、野菜などの植え付け（5月）、オオムラサキの成虫観察調査（6月）、昆虫夜のお泊り観察会（7月）、農園全体の草刈り（8月）、カヤネズミの観察会（9月）、オオムラサキの幼虫観察会（12月）

環境や地域への貢献

里山の保全をはじめ、緑にふれあう機会を充実させるとともに、地球温暖化対策や循環型社会を推進するなどして、緑に包まれた美しい里山を目指したいと思っています。森林の保全や草木の植樹を行い、今後も地域のまちづくりに継続して貢献していきたいと考えています。

助成金が活きたと思う点

農林保全に必要な機材として、チェーンソーを借り上げることができ、台風19号で大木が倒れたのを玉切りするのにたいへん役立ちました。また、猪の防護柵を購入設置し、進入の被害を防ぐことができました。このようにたいへん役立ちました。ありがとうございました。

竹と筍の魅力発信基地の創設

認定特定非営利活動法人加茂女

活動場所 京都府木津川市山城町上拍才五郎谷
所在地 京都府木津川市南加茂台4丁目16番9
設立年 1988年（法人化は2010年10月）
会員数 正会員45名（活動会員は他に85名）
連絡先 TEL:0774-66-1895、info@np-kamome.com
HP [Facebook](#) [f](#) [Twitter](#) [t](#)



夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちはボランティアで竹林整備をすることと併せて、いかに竹林が価値あるものに復活できるかということにチャレンジを続けています。それは、子どもの頃から竹林に親しんでいただけること、一人でも多くの方に竹林に足を運んでいただき竹林の魅力を知ってもらうこと、そして竹の魅力に気づいて竹製品を使っただけに留まるようにすることです。今年度は、竹で筏を組んで木津川の川下りを実施し、市内外から注目を集めました。竹の商品開発も解放窯で焼いた竹炭を水質浄化剤としてメダカ屋さんに出荷できるようになりましたし、竹チップも防草素材として販売までこぎつけるなど、順調に進みました。

環境や地域への貢献

活動場所である竹林に筍搬出用の運搬車が使えるように道路整備を進め、作業の効率化を図りました。地元の南陽高校からは、文化祭で筍の食品販売をし教室を竹で飾りたいと言って、3度も竹林や事務所に来ていただきました。

助成金が活きたと思う点

今年度も助成金をいただけたからこそ、様々な事業に取り組みました。三つ折りパンフやチラシ等が印刷できたことは、事業の成功にうなづいたと感謝しています。

太陽熱回収用へどろヒートポンプの開発

認定特定非営利活動法人ブルーシー阿蘇

活動場所 京都府宮津市
所在地 京都府宮津市須津 797
設立年 2006 年
会員数 30 名
連絡先 0772-46-4943、toyomi55@beige.ocn.ne.jp
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

天橋立の内海（阿蘇海）のへどろが有する優れた吸湿能力を活かし、太陽熱を吸収するヒートポンプのデモ機を作製しました。装置は水の入った容器とへどろの入った容器をパイプでつないだだけの極めて単純なものです。太陽熱で水から蒸気を発生させへどろに吸着させると、太陽熱をへどろに運ぶポンプが作れるのです。とはいえ最初につくったときうまく作動しませんでした。原因がさっぱり分からず焦りましたが、装置をコンパクトにするために用いた真空ホースの径が細く、それが蒸気の流れを阻害していたのです。三年目にしてやっとデモ機を完成できました。

環境や地域への貢献

へどろヒートポンプは温暖化対策に利用できます。また、阿蘇海に大量に堆積するへどろの表層部分を吸着材に利用すれば、表層には海を汚す栄養物質が濃縮しており、美しい阿蘇海が自ずと蘇ると考えます。

助成金が活きたと思う点

デモ機ができ、ヒートポンプのことを人に説明しやすくなりました。また、ビデオを制作して一般に公開できました。

URL ; <https://youtu.be/r7jEZ0eeKFM>

Re 梵（リボン）大作戦

～梵釈寺から始まる里山の再生～

特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会

活動場所 滋賀県東近江市
所在地 滋賀県東近江市建部北町 531
河辺いきものの森ネイチャーセンター
設立年 1998 年
会員数 会員 42 人 ボランティア会員 60 人
連絡先 0748-20-5211、ikimono@e-omi.ne.jp HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

里山の手入れができなくて困っている地域と、里山保全 NPO である遊林会とが連携し、本来の豊かな自然を取り戻しています。今年度は計 10 回 153 人の保全と小学 4 年のやまご事業を含め 175 人の体験利用がありました。

環境や地域への貢献

地域の方からは「ほんまにようしてくれた。昔のきれいな森の姿を思い出すことができた」という声をいただいております。また助成頂いた薪割り機を使って、645kgの薪を販売できました。灯油ポリタンク約 10 個分の化石燃料の削減ができました。

助成金が活きたと思う点

未来に引き継ぐために守っている自然がどのような価値があるのかを、植物と魚の専門家に調査をお願いし、報告書としてまとめていただき、成果を地域に還元できました。

また、ステップアップとして、組織力の強化を目的に視察研修や伴走支援をお願いすることができました。組織力の強化という、必要だけれどもなかなか踏み出せない事案に対してチャレンジし、事務局の意識が変わったことが大きな収穫です。

びわ湖流域赤シソ栽培ネットワーク事業

“Team Hira Perilla”

一般社団法人比良里山クラブ

活動場所 滋賀県大津市南比良、比良まほろぼの里
所在地 滋賀県大津市横木 2-25-12
設立年 2009 年
会員数 9 名
連絡先 077-527-2833、info@hira-satoyama.net
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

赤シソを栽培することで農地荒廃化に歯止めをかけ、里山環境を保全することを目的とした事業（5 年目）です。獣害問題と向き合う山間地を中心に、赤シソ栽培に取り組む団体をネットワーク化し、その事務局を当会が担い、SNS を活用した情報交換、各地区への栽培指導を行いました。4～6 月播種・育苗の実習。7 月収穫・選別作業。（異常気象により 2 団体のみ収穫、葉を仕入れて製品加工）

環境や地域への貢献

4 月、南比良地域に開設した当会の地域サロン「比良ラボ」を通じ、労働や農地を提供し、活動に協力したいという農家さんが誕生しました。人生初のボランティア経験を感動的に語る高齢者。利用者から協力者になり、自主的に関わりたいという意識改革の年になりました。自分たちが計画し、夢を実現する喜びも体験されました。また、社会に適合しにくい青年が育てたこだわり野菜の販売を手伝ったことは、今年の大きな成果です。

助成金が活きたと思う点

今年も引き続き利便性の良い事務所と、有償スタッフを置くことができ、組織業務の役割分担実践に繋がりました。また、他府県の視察や取材訪問も実現し、有意義な情報交換や交流が叶いました。テレビや新聞で事業を発信でき、今後に向けた地元協力者増加の手応えを感じています。